

公開特許抄録

特開2005-176625

請求等 (3) 全頁数 (16)
 IPC 識別記号 (1) FI (1)
 A01D 61/00 301 A01D 61/00 301E

発行 2005年07月07日
 登録
 出願 2003-418425
 2003年12月16日

出願人 井関農機株式会社

発明者 阿波 雅之、奥本 康治、齋藤 学、坂本 憲之、岩本 浩

優先権

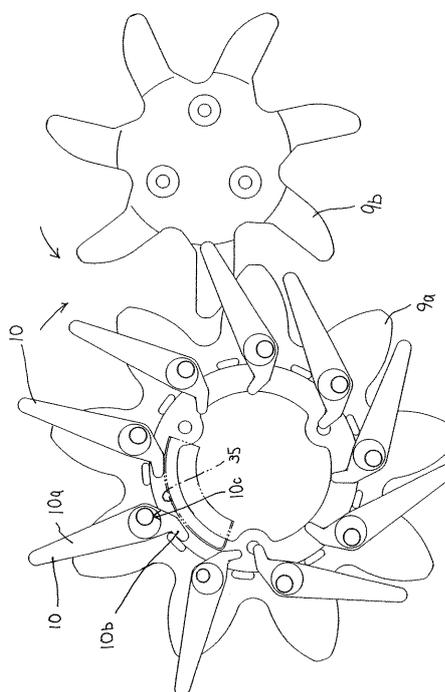
【名称】 コンバインの供給搬送装置

(57) 【要約】

【課題】 従来の装置は、始端部側のスターホイールの挿込み歯で挿込み回転を行う構成であるから、挿込み時の機能が不十分でとりこぼしや穂先側のもたつきが発生して、結果的に、穂先の揃いが極端に悪くなって、脱穀負荷が大きくなる課題があった。

【解決手段】 本願発明に係る刈取前処理装置6の供給搬送装置5は、株元チエン7と穂先搬送ラグ8との上下2段に構成し、穂先搬送ラグ8に近い高さ位置に、駆動側と従動側との左右一对の挿込みスターホイール9a、9bを噛み合い状態に軸架して設け、該挿込みスターホイール9a、9bの一方側に、前方位置では起立して穀稈を挿込み、側方から後方に移動する過程では倒伏して非作用状態に回転する挿込みラグ10を設けて構成したコンバインの供給搬送装置としている。

【選択図】 図1



【産業上の利用分野】

本願発明は、車体前部の刈取前処理装置から後続する脱穀装置に刈取穀稈を搬送する供給搬送装置に関し、農業機械の技術分野に属するものである。

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車体1上に搭載した脱穀装置2の前側に、少なくとも穀稈引き装置3と刈取装置4と供給搬送装置5とを備えた刈取前処理装置6を設け、該刈取前処理装置6の供給搬送装置5は、株元チエン7と穂先搬送ラグ8との上下2段の搬送装置から構成し、前記穂先搬送ラグ8に近い高さ位置に、駆動側と従動側とに軸架した左右一对の挿込みスターホイール9a、9bを噛み合い状態にして設け、該挿込みスターホイール9a、9bの一方側に、穀稈を挿込む前方位置では起立し、側方から後方に移動する非作用位置では倒伏するように回転する挿込みラグ1

0を設けて構成したコンバインの供給搬送装置。

【請求項2】

前記挿込みラグ10は、噛み合い状態で移動する左右一对の挿込みスターホイール9a、9bの上方位置にあるとき、平面視において、挿込み歯11の範囲内に収まる長さに構成した請求項1記載のコンバインの供給搬送装置。

【請求項3】

前記挿込みラグ10は、側方から後方へ移動する非作用位置にあって、倒伏状態にあるとき、平面視において、挿込み歯11の先端回転軌跡の範囲内に収まる長さに構成した請求項1、又は請求項2記載のコンバインの供給搬送装置。